

審議会等会議録

審議会等の名称	令和 6 年度第 1 回山口市立図書館協議会
開催日時	令和 6 年 5 月 3 1 日（金曜日） 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0
開催場所	山口情報芸術センター多目的室（2 階）
公開・部分公開の区分	公開
出席者	安光会長、伊東副会長、仲村委員、井上委員、安光（真）委員、福永委員、瀬川委員、三坂委員、若原委員
欠席者	属委員、中村委員、岡藤委員
事務局	大井中央図書館長、杉山小郡図書館長、網田秋穂図書館長、国重阿知須図書館長、榎本徳地図書館長、徳本阿東図書館長、高村中央図書館管理担当主幹、一村中央図書館サービス担当主幹
議題	1 令和 5 年度山口市立図書館運営状況について 2 令和 5 年度事業実績及び令和 6 年度事業予定について 3 その他
内容	○中央図書館 高村管理担当主幹 本日は、お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。 （資料確認） それでは、大井中央図書館長が挨拶をいたします。 ○中央図書館 大井館長 皆さん、こんにちは。 本日はご多忙中にもかかわらず、山口市立図書館協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。初めての方もおられますので、当協議会について簡単に説明をさせていただきます。 本日開催します協議会につきましては、図書館の運営に関して図書館の館長の諮問に応じるとともに、図書館で行う図書館方針について館長に対して意見を述べることを目的として設置しているものです。 今年度の会議につきましては、今回も含めまして、3 回の開催を予定しております。サービス計画等にありますが各種事業等に対してご意見を伺いたいと考えているところです。 協議会の委員構成につきましては、学校教育、社会教育に関する方や、家庭教育の向上に資する活動を行っておられる方、また学識経験を有される方、そして公募の委員さんということで、1 2 名の方をお願いをしております。任期は、令和 5 年度からの 2 年とさせていただきます。 さて、昨年 5 月からコロナが、季節性インフルエンザと同じ 5 類に移行され、ようやく 1 年が経過したところです。図書館についても日常を少しずつ取り戻しているという感覚を持っております。 こうした中で本日につきましては、昨年度、今年度の事業等について、ご説明

をさせていただきます、皆さんから忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。

簡単ではありますが、挨拶とさせていただきます。よろしくお願いします。

○中央図書館 高村管理担当主幹

続きまして、年度替わりにより委員の交代がありましたので、お知らせします。本日お配りをしております、資料の委員名簿の市教研学校図書館部会の岡藤先生と若原先生に新たにご就任していただいております。岡藤委員さんにつきましては、今日のご都合がつかずに欠席ですが、若原委員さんはご出席いただいておりますのでご挨拶をお願いいたします。

若原委員（自己紹介）

○中央図書館 高村管理担当主幹

新任の委員さんがおられますので、昨年度からご就任いただいております、他の委員の皆様にも、一言ずつ自己紹介をお願いいたします。

委員（自己紹介）

事務局紹介

会議の成立についてです。本協議会は12名の委員での構成となっております。本日は属委員、中村委員、岡藤委員の3名が欠席ですが、委員の過半数の出席がありますので、山口市立図書館条例施行規則第24条により、会議は成立しておりますことをご報告します。（改行）

これからの議事進行は山口市立図書館条例施行規則第24条により、会長が議長となります。安光会長お願いします。

○安光会長

本日の議題は、令和5年度の図書館運営状況、令和5年度事業実績報告、令和6年度事業予定です。その他では、日頃皆様方が市立図書館を利用されて気になっていること等、ご意見等があれば、頂戴したいと思っております。

本日の協議会につきまして、議事録を作成させていただきます。それに伴いまして、録音させていただくことをご同意いただけますでしょうか。

（了承）

ありがとうございます。

また、議事録をホームページに公開してもよろしいですか。

（了承）

発言の際にはお名前をお願いします。

令和5年度山口市立図書館運営状況について、事務局から説明をお願いします。

○中央図書館 高村管理担当主幹

主要事業についてです。

スマートフォン及びマイナンバーカードによる貸出業務の開始については、デジタル技術を活用し、令和5年11月10日からスマートフォン及びマイナンバ

ーカードによる図書館資料の貸出サービスを開始しました。

圏央連携都市圏域図書館利用活用促進PJナナシマチ交流促進イベントの実施については、ナナシマチを巡るスタンプラリー等の交流イベントを実施しました。

中央・小郡・阿知須・阿東図書館周年記念事業の実施については、中央図書館が開館から20周年、小郡が15周年、阿知須が20周年、阿東が10周年を迎えたことから、各図書館で周年記念事業を実施しました。

小郡図書館太陽光発電設備の更新については、小郡図書館の太陽光パネルで発電した電気を館内で使用できる電気に変換する機器が故障したことから更新したものです。

秋穂図書館の天井ルーバー改修工事の実施については、施設の長寿命化し、安全かつ安心して利用していただくために、天井ルーバーの改修工事を行ったものです。

事務事業別概況です。山口市立図書館が所管する7つの事務事業について取り組みました。

図書館管理運営業務です。図書館協議会の開催として、3回協議会を開催しております。

広報活動としては図書館だより、ウェブサイト、メールマガジン、ブログ「図書館員ソノコのつぶやき」による広報を実施しました。

その他につきましては、主要事業で説明をしましたので、割愛をさせていただきます。

○中央図書館 一村サービス担当主幹

移動図書館の管理運営業務についてです。

移動図書館については、北部地域は阿東図書館を、南部地域は中央図書館を発着場所として2台体制で巡回をしています。サービスステーションは43か所、貸出が2万8千冊、利用者が9,220人となっています。

図書館資料整備事業につきましては、購入冊数29,555点、寄贈受入2,247点、除籍17,466点となっております。

学校図書館支援サービス推進事業につきましては、学校に対する団体貸出やそのための資料購入、出張ブックトークをしております。また、学校からの職場体験の受入も行っております。学校図書館の児童生徒一人当たりの貸出冊数は45冊となっております。

ブックスタート推進事業につきましては「ブックスタート体験会」を開催し、絵本やバッグ等をセットにした「ブックスタートパック」を手渡しております。体験会数67回、体験会の参加率が57.2%、推進委員会を1回開催しております。

子ども読書活動推進事業につきましては「すきなおはなしの絵」の募集と展示、児童サービスボランティア養成講座等を行っております。

図書館活用推進事業につきましては、図書館の利用層の拡大に向けた行事、イベントを実施しています。周年事業を中央・小郡・阿知須・阿東図書館で実施しております。また、まちじゅう図書館を実施しております。事業者を募集しまして、15か所の事業者に対して、2か月に1回、配本しております。事業者には図書館で事業者のノウハウを生かした講座を13回開催していただいております。また、各館の図書館まつりを実施しております。また、全館一斉イベントとして4月27日、こどもワイワイ図書館を開催しました。また、作家講演会、ライブラリーコンサート、小郡地域交流センターと連携した上映会、おはなし会、歴史講座、ナナシマチでの交流促進イベント等を実施したところです。

○中央図書館 高村管理担当主幹

令和5年度山口市立図書館各種指標についてです。目標値につきましては、総合計画や事業計画で目標値としているものです。この中で、第4次山口市立図書館サービス計画に掲載している指標の実績についてご説明します。

基本事業の貸出点数につきましては、197万点を目標値としておりますが実績は1,222,260点、前年度比48,949点の減となっております。

入館者数につきましては、75万人を目標値としておりますが、実績は581,606人、前年度比は1,902人の減となっております。貸出点数や入館者数の減につきましては、人口減少も要因の一つと思われますが、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が緩和されたことで、図書館への入館者よりもレジャー等、他に出かける方が多かったことなども影響しているのではないかと感じております。

市民一人当たり貸出点数につきましては、10冊を目標値としておりますが、実績は6.5冊、前年度比が0.2冊の減となっております。これはほぼ横ばいで昨年度並みと考えております。

図書館資料整備事業の年間資料購入冊数につきましては、3万7千冊を目標値としておりますが、実績は29,555冊、前年度比が1,986冊の減となっております。これは1冊当たりの資料の単価が上がった影響と思われますが、今後も必要な予算を確保し、引き続き、資料の充実に努めてまいりたいと考えております。

学校図書館支援サービス事業の学校図書館の一人当たりの貸出冊数につきましては、52冊を目標値としておりますが、実績は45冊、前年度比は1冊の減となっております。これは、減少はしておりますが、ほぼ昨年並みとなっております。

図書館活用推進事業の行事参加者数につきましては1万8千人を目標値としておりますが実績は9,519人、前年度比は332人の増となっております。これは周年記念行事への参加によるものと思われます。

以上で山口市立図書館運営状況の説明を終わります。

○安光会長

令和5年度事業実績報告を各図書館長さんからも報告をお願いします。

中央図書館をお願いします。

○中央図書館 大井館長

中央図書館分です。

図書館利用層の拡大を図るため、講演会や企画展示、イベント等を実施しました。また「まちじゅう図書館」に取り組みまして、児童ボランティアや朗読ボランティア等の図書館ボランティア団体を対象にした研修会などを実施しました。

利用層の拡大につきましては、作家講演会として、1月21日「山口のおかげさま～サバイバルなファミリー～」としてフリーアナウンサーの白木美和さんにお越しいただきまして、講演会をしていただきました。

また、市の他部署と連携した「健康づくり講座」として、ウォーキング講座を健康増進課と連携して実施いたしました。

また、民間事業者と連携した各種事業としてレノファ山口のコーナーを設けまして、対戦相手の選手の紹介や順位表、試合結果などを展示いたしました。

また「まちじゅう図書館」の取組として、配本やイベント等をしております。例えば、8月21日「ちびっこ上棟式」では、参加者10人で建設会社の成匠さんに木材を持って来ていただいて、説明と実際に家の棟上げまでを体験するイベントをいたしました。また、毎年行っています「ワイワイ図書館」を実施しております。

続きまして、子どもの読書活動の推進ということで、絵本作家を講師とした行事等、12月16日に絵本作家の桃戸栗子さんをお招きして、動物のモビールのワークショップを実施しております。また定例のお話会も実施しております。

昨年は中央図書館開館20周年記念事業をしております。

11月18日に写真家の石川直樹さんによる記念講演「地球を旅する」を開催しまして、161名の方にご参加をいただきました。また12月17日元NHKのアナウンサー山根基世さんによる記念講演と中原中也の詩の朗読をしていただきました。201名の方にご参加をいただいております。このほかに10月27日から11月24日まで中央図書館20周年あゆみ展を行いました。

湯田出身のイラストレーター日比野尚子さんによるデザインのブックカバーを、本を借りられた方に贈呈しました。また、おはなし広場スペシャルを開催しました。

デジタル技術を活用したサービスの充実ということで、マイナンバーカード、スマホの図書カードで貸し出しするサービスを開始しました。

また、山口市公式ラインアカウントに新たに図書館のメニューを設けまして、こちらから図書館のホームページにアクセスするサービスも11月20日から始めております。

○安光会長

次は小郡図書館、お願いいたします。

○小郡図書館 杉山館長

それでは小郡図書館の令和5年度の利用状況を申し上げます。

昨年度は、利用者層の拡大、子ども読書活動の推進、企画展示の充実、他機関との連携強化、資料整備、開館15周年記念事業の実施、図書館施設の整備に取り組んでまいりました。

まず、利用者層の拡大としましては、主に図書館友の会「鉢の子」と連携したイベントの実施をしております。こういった事業を1年間通して行っております。

次に子ども読書活動の推進についてですが、好きなお話の絵の展示では、昨年度578点の応募がありまして、6月から11月にかけて図書館内の児童コーナーに展示させていただきました。

定例のおはなし会ではみんなのおはなし会を10回、4歳以上からのおはなし会は12回、赤ちゃんのためのおはなし会は12回、折り紙教室は12回行っております。

そして6月には、小学生を対象とした、図書館はっけんツアーという行事も行っております。また子ども向け上映会として、これは地域交流センターとの連携としての事業ですが、2回ほど上映会を開催しております。

12月には子どもクリスマスわいわい本カフェを行っています。これは鉢の子さんとの連携でございます。

次に企画展示ですが、これは職員が毎月違ったテーマを企画して、本の展示をしております。テーマにつきましては毎月図書館だよりでお知らせをしているところです。

そして他機関との連携では、小郡文化資料館との連携が、小郡文化資料館との行事に合わせた資料展示を図書館で行っております。

その他の図書館活用推進事業の中で、4月22日にこどもワイワイ図書館を開催しておりますが、その中で、資料館の学芸員さんに講師になっていただいて、図書館のレシートの芯を使ったこま作りのワークショップを開催しております。そして7月27日には「昔の家とこわい話」ということで、夏休みに資料館の中で、昔の道具が置いてある部屋があるのですが、その部屋を暗くして、その中でこわい話の読み聞かせを行っております。

次に小郡地域交流センターとの連携についてですが、これは先ほども申しましたが、大人向け上映会と子ども向け上映会というのをそれぞれ2回ずつ、行っております。大人向けでは5月に「スパイの妻」、3月には「マイ・ダディ」、そして子供向け上映会では8月に「おしりたんてい」と2月に「ざんねんないきもの辞典」を開催しております。

資料整備について、地域資料の整備を行っております。

閉架書庫ですが、棚の増設ができませんので、その中で棚の入れ替えをしたりして、工夫しながら本の配置換え等を行っているところです。

開館15周年記念事業では、10月に絵本作家の鈴木まもる先生をお呼びしまして、「せんろはつづくワークショップ」と題して鉄道模型の木工工作のワークショップを開催しております。多くの方が楽しいひと時を過ごされました。

最後に、先ほども出ましたが、図書館施設の整備では、以前も協議会で申しましたが、太陽光発電設備の改修工事を9月にしております。ただ、太陽光が発電しているかどうかのパネルが見えないということで、それ以降の電気代を見ると常に前年度比ではマイナスになっていますので、太陽光が働いていると解釈しております。

以上が令和5年度事業実績です。

○安光会長

秋穂図書館をお願いします。

○秋穂図書館 網田館長

それでは引き続きまして、秋穂図書館のご報告をします。

まず、今年度の重点施策でもありましたが、本図書館の施設、天井のルーバー工事を行いました。当初の予定は9月頃を予定していたのですが、入札が不調に終わりまして、工事期間がずれて、結果年明けに無事年度内に修繕、改修を終えております。臨時に休館することなく、当初の休館日や図書整備日などを利用して、利用者にご迷惑がかからないような形で、改修工事が無事終わっております。

次の読書環境づくり、館内機能の充実につきましてですが、館内に布絵本の新たな展示を3点ほどしておりますし、人形劇の展示なども行っております。

子どもの読書活動の推進につきましては、通常のおはなし会に合わせて、クリスマス等でおはなし会スペシャルというのを特別に実施しております。一般向けの読書活動の推進のための大人のためのおはなし会については、6月、9月、12月、3月に実施しました。

最後に秋穂地域資料の充実で、秋穂地域出身の関係者の資料等は収集しており、5年度については秋穂祭りに時期を合わせて、秋穂の昔話の紙芝居の上演をし、地域の人にご覧いただきました。

秋穂図書館は以上です。

○安光会長

阿知須図書館をお願いします。

○阿知須図書館 国重館長

阿知須図書館の国重でございます。

令和5年度の主な取組としまして、「利用しやすい環境づくり」、「新たな利用者の拡大促進」及び「学校等との連携強化」につきまして引き続き取組を行い、また、開館20周年の年でありましたので、記念事業も行いました。

「学校図書館支援サービス推進事業」では、職場体験として5月17・18日の2日間に川西中学校2年生3名、同じく25・26日の2日間に阿知須中学校

2年生3名を受入れました。また、6月20日に小学校施設見学として阿知須小学校2年生67名、11月28日には中学校ボランティア活動として阿知須中学校生徒21名、そして、2月28日には卒業記念清掃ボランティアとして阿知須小学校6年生30名により図書館周辺の清掃が行われました。

「ブックスタート推進事業」ですが、体験会自体は、隔月の奇数月に開催しております。参加状況といたしましては、対象地域が阿知須地域及び佐山地域でございまして、対象者73名のうち参加者60名となっております。因みに阿知須地域の対象者は64名で参加者は46名でした。

「図書館活用推進事業」では、11月3日に図書館まつりであります「きらら館まつり」を開催し、子ども向け上映会や本のリレー市、おはなし会などのほか、開館20周年記念事業も行いました。

また、手づくり参加型企画としまして、「七夕かざり」や「おすすめ本教えてください」を行いました。「おすすめ本教えてください」は、利用者のおすすめする本の「タイトル」と「おすすめポイント」をポップに記入してもらい館内に掲示しました。いわゆる伝言板のようなものを設置し、利用者が「おすすめする本」を皆さんにご紹介する催しものです。

10月29日の「まちじゅう図書館講座」では、まちじゅう図書館に登録頂いている「カフェ・はなめ」様にナチュラルバスケットづくりのワークショップを開催して頂きました。

最後に、周年記念事業としまして、阿知須図書館・きらら館が開館20周年を迎えることに伴い、記念事業を開催しました。

先ずは、7月29日からモザイクアートの展示を行いました。これは5cm角の木片に色を塗って阿知須、井関の両小学校3年生から6年生までの児童の皆さんや来館者皆さんに思い出の本や面白かった本のタイトルを記入して頂いた484個の木片を使用したモザイクアートを図書館内に展示しました。

また、同日、貸出利用者先着100名様に「牛革製しおり」のプレゼント。翌30日には、牛革製ブックカバーづくりのワークショップを20名の参加者により開催。11月3日のきらら館まつりでは、開館記念事業として、小学2年生までを対象とした阿知須図書館の塗り絵や大人向け読書袋の配布なども行いました。

阿知須図書館は、以上でございます。

○安光会長

徳地図書館をお願いします。

○徳地図書館 榎本館長

はい、それでは徳地図書館の令和5年度の事業実績について主なものを申し上げます。

まずは、図書館利用促進のためのイベントとしましては、初の試みとして、だしの素やみそで有名なシマヤさんにご協力をいただきまして、「日本の伝統食材

“みそ”をつくろう！」と題した講座を開催しました。参加者にはまず、クイズ形式でみそについていろいろと学習をいただいた後に、実際にみそづくりを体験していただきました。徳地地域以外からも多くの方に参加をいただいたところで

す。

9月には地元の方に講師をお願いし、明治維新の徳地地域を題材とした、歴史講座を開催しまして、30名を超える方々に熱心にご聴講いただいたところで

す。

また10月には、地域の読み聞かせボランティアの方々のご協力により、「ストーリーテリングのつどい」を開催し、6名の方に語り手となっていただき、それぞれ講師から熱心にご指導いただいたところで

す。

次に子どもの読書活動の推進につきましては、主に未就学児や小学生を対象に、DVD上映会や、ゲーム等を行う、ワイワイ図書館や「イースターイベント」の開催を始め、一定時間に30冊以上の本を借りた小学生以下の子どもに景品をプレゼントする、「ブックリンピック」、小学5、6年生を対象に図書館や図書館の業務内容を学んでもらう、「図書館たんけん隊」などを開催し、子どもたちに気軽に図書館に足を運んでもらえるよう、努めてきたところで

す。

徳地図書館の主な事業は以上です。

○安光会長

阿東図書館をお願いします。

○阿東図書館 徳本館長

それでは、阿東図書館の令和5年度の主な事業について説明します。

最初に図書館まつりです。昨年が、阿東図書館新築移転10周年という節目の年でしたので、その記念事業に合わせまして、7月23日に開催をしたところで

す。主な事業内容ですが、世界で活躍されている林隆雄さんのチェーンソーカービングの実演、また、ワードラリー、大野進二さん制作のDVD上映会などを行

ったところで

す。

また、まつりの終了時には、ビンゴ大会も行いまして、雑誌の付録などを景品として差し上げるとともに、会場に飾り付けをしておりましたバルーンなどもプレゼントして、子どもさんを始め、参加者、来館者の方に大変喜ばれたような印象です。来館者数は延べ602名ということです。

次に4月22日に開催をしました、こどもワイワイ図書館につきましては、DVD上映会で視聴いただいた、「すみっこぐらし 青い月夜の魔法の子」のすみっこというワードをテーマとして、ワードラリーを行うとともに、ボランティアで読み聞かせを行っている地域の方々にもご協力をいただいて、おはなし会を実施したところで

す。

また工作教室も行っておりまして、折り紙で手裏剣を作ったところで

延べ333名の方にご参加いただいています。

また、こどもワイワイ図書館、それから図書館まつりを含めまして、子ども向

け、大人向け、計8回にわたって、DVD上映会を開催しておりまして、図書館へ足を運んでいただく機会を設けております。

また季節ごとの特別企画として、大掛かりな飾り付けや、本の平置きを行ったりしておりまして、来館者の目を引くように努めてきたところです。

その他、小学生の施設見学として、徳佐小学校の子どもたちに、地域まち探検としまして、図書館の利用案内や中学生、高校生に職場体験をしていただいたところです。

以上で、阿東図書館の報告を終わらせていただきます。

○安光会長

令和5年度山口市立図書館運営状況と各図書館の令和5年度事業実績を報告いただきました。ご質問、ご意見等があればお願いします。

スマートフォン及びマイナンバーカードというのは、これを使つての貸出業務ということを開始されたということですが、前にもお聞きしたかもしれませんが、中央図書館だけではなく全館、どこの館にもあるということですね。

○中央図書館 大井館長

昨年11月から令和6年3月末までの利用実績ですが、マイナンバーカードの登録は市立図書館全6館で使えて、46名の方の登録がありました。マイナンバーカードでの貸し出しは37件です。スマートフォンでの貸し出しが、486件ありました。令和6年度4月の数字を申しますと、マイナンバーカードの登録は4件、貸し出しは5件、スマホでの貸し出しが138件となっております。大体1か月くらいでマイナンバーカードの登録数が4、5件、スマホの貸出が130件といったところです。

○安光会長

利用者の年齢層はわかりますか。

○中央図書館 大井館長

ちょっとわかりません。

○中央図書館 一村サービス担当主幹

スマートフォンでの貸出は、カウントが取れません。カードを出すのか、バーコードを表示されたスマホを出すのかということになりますので、実際は、職員が正の字をつけてカウントしています。年齢を確認するのは難しい状況です。

○安光会長

そうですか、数を正の字で取っておられるのですね。

○中央図書館 一村サービス担当主幹

窓口で受け付けた職員が、後でカウントを正の字でつけていく方法で集計しています。

○伊東副会長

スマホで貸し出しできるようになって、どんどん増えてきているのか、今まで通りのカードでいいやという感じなのか、その感覚はどうですか。

○中央図書館 一村サービス担当主幹

窓口でいうと、従来の紙のカードをそのまま使いたいという方はやっぱり多いです。ただ、忘れたような時などに貸出ができる手段が増えたということは良かったと思っています。

○伊東副会長

そうすると今のところは、貸し出しをするときに、カードを忘れてきたときに、忘れて来たけどスマホを持っていたから良かったねという感じの使い方。

○中央図書館 一村サービス担当主幹

そうですね。後は試しにちょっと使ってみたらという方も。

○伊東副会長

スマホで借りられるようになったのだから、もうカードなんか持ち歩かなくてもいいやという感じではないのですかね。

○中央図書館 一村サービス担当主幹

窓口に立つ感覚で、これからすごく増えていくという感覚は無いですね。

○伊東副会長

分かりました。

○安光会長

他にありますか。

仲村先生お願いいたします。

○仲村委員

マイナンバーカードのことですが、このところ、マイナンバーの法律が変わって、マイナンバーカードとの連携の取り止める図書館が何件か全国で出てきているのですが、それというのは、法律が変わって従来と連携をしている方式で、情報管理が厳しくなって、継続できなくなってやめる図書館がぽつぽつ出てきたということですが、こちらの図書館の方式では、別に問題ないので継続出来るということだと思います。

○中央図書館 大井館長

先日各図書館に職員が回りまして、マイナンバーカードで借りていただくための、専用のソフトが端末に入っておりまして、それを更新しました。法改正の関係で、これまで登録していただいた方も、もう一度、再度登録をしていただくようになります。最初に設定した4桁の暗証番号を再度入れていただく必要があります。

○中央図書館 一村サービス担当主幹

その4桁のパスコードは最初の1回だけご登録いただいて、後は通常通り、リーダーの上にカードを置いていただいたら貸し出しができます。

○仲村委員

はい、ありがとうございます。すでに対応されているということで。

○中央図書館 一村サービス担当主幹

この月末に対応いたしました。

○仲村委員

法律改正の施行が今月下旬だったと思うので、迅速なご対応をいただいているということで、とても安心しましたし、選択肢が増えるというわけですから、とてもいいことだなと思っています。

もう一点、各種指標の目標値のところというのは、過去に作った計画で掲げられた目標値だと思いますが、個人的な感想としては、厳しい数値があって達成の見込みがあるのかなという不安がありまして、この目標値の設定みたいなものが、状況が何か変わっているとか困難が生じていれば、参考までにお聞きしたいと思っています。

○安光会長

この目標値は、令和9年度に達成するという目標だということでしょうか。

○仲村委員

計画の最終年度です。

○安光会長

最終年度が毎回出てきますが、市民一人当たりの貸出点数10冊というのは、私もちょっと、追いつくかなと思う部分もあります。

○中央図書館 大井館長

非常に厳しい目標になっているのではなかろうかというご質問だと思いますが、高い目標を設定しまして、それに向けて各種事業に取り組んでいくという、意気込みと捉えていただけたらいいかなと思います。もちろん、達成するのがいいとは思いますが、それに向けて努力していこうというような数値で目標値を立てさせていただいていると考えていただければと思っています。先ほどありました貸出、市民一人当たりの貸出点数6.5点、目標が10点ということで、実はもう少し前は6.9点とか上り調子だったときもありまして、そういったことで、ちょっと高めの設定ということも、要因にはあるかと思っています。コロナ以前はかなり利用が多かったということもありまして、その前の計画を引き継いだ形で、今回の計画も作っているということでありまして、そういった要因で高めの設定ということにさせていただいております。

○仲村委員

ありがとうございます。目標に関係して予算の都合などあると中で、高めの数値を設定していただけると、市民としても大変うれしいことですが、次の計画の時にも、目標値の調整をいろいろ工夫していただけたらいいのではないかなと思います。

またこの先、例えば電子図書館の新しいサービスが始まった時に、きっとまた新たな指標などが増えて、次の計画など、その時に例えば紙の貸出点数は残念ながら減ってきているが、電子図書館は好調だねとか、そういったような違った利用の仕方、市民に親しまれることも悪くないのではないかなと思っています。

で、期待しております。

○安光会長

学校図書館の一人当たり貸出冊数は45冊となって先生方がいろいろなご指導をされておられ、これは限りなく近くいくか、または超えていくのではないかなと期待できます。一方では、そういうところもあるのかなと思っております。

他の方、いかがでしょうか。

○伊東副会長

目標値のことですが、前年比で、貸出点数が減っていますよね。それはもちろん、人口が減っていくということもあるということなのですが、ただ、図書館の中で見てみると、規模の若干大きい中央図書館と小郡図書館が、やっぱり減っている。

それで2020年からコロナということを考えると、閉館もあったわけですから、入館者数が減るのは当然なのですね。それで、コロナが明けた令和5年の時にやっぱりマイナスなのですね。今年度は3.9%のマイナスになっているということ。

蔵書の冊数については、目標値をすでに達成しているわけですよ。令和4年度も既にそうだし、令和5年度は、79万になっているわけで、いわば、蔵書の冊数は充実しているのだけど、貸し出しがやっぱり鈍っている、利用が鈍ってきているということは、抗えない事実ではないかと思います。それは、人口が減ってきているという理由もあるかもしれないけど、これは多分山口市だけの問題ではなくて、全国的な問題として、図書館の利用というものが、日常的に日常生活の中で、図書館から本を借りて読むという、読書、市民一人当たりの1か月の読書冊数の目標というのが、令和7年で2.1冊というのが前にあるわけで、その全体の市民一人ひとりの読書生活の中で、図書館を便利に使っている人の割合が年々減ってきているのは事実、だけど、私自身としても、この山口市立中央図書館だけを見ても、別に、蔵書は悪くないのですね。コレクションはすごく。私が山口市民だったらこんな図書館があると本当にいいよねというくらいに思うような選書をしてらっしゃるし、その分、この数字にも表れていますが、目標値を達成するような蔵書は展開していただいていると思うのですね。だけど、それにもかかわらず、利用が減っているというのは、何か原因を、考えないといけないと思いますね。しかもそれは、他の図書館も見ても、6館全部減っているわけで、しかも規模の大きい小郡図書館ですら減っていて、それから考えると山口市全体の問題なのかなというふうにも思います。そのあたりについては、さっき電子図書館が始まると、実際に紙の本の利用は少なくなったけど、電子図書館ではもっと多いよという、そういう別の利用の結果みたいなものが考えられないこともないという話もありましたが、今のところとしては、紙の本なのですよね。だから実際に本を買って購入をして読むような人の方が増えているのかもしれない。その分、例えば図書館の利用があんまり便利ではないよと思われてしまっている

のではないかという危惧があるのですが、いかがでしょうか。

○安光会長

それぞれが減少しているというところですね。

○中央図書館 大井館長

要因まで分析できていないのが実状ですが、最近、雑誌がどんどん休刊になっていって、雑誌というのは、図書館にとって回転数が早いものであるのもので、そういったものの貸出が少し減っているのではないだろうか、そういうものによって、少なくなっているものがあったり、さらにはインターネットで雑誌を見られる、漫画を見られるというような、世の中になってきたので、図書館に来なくてもそういった情報が得られるツールが増えたことであったり、ではなかろうかというような感覚ではあります。実際に、利用者アンケートをしています、その中でももしかしたら出てくるかもしれませんし、今のところはっきりとこれが要因だと言いつらいところです。

○伊東副会長

すみません。やっぱり、市民一人ひとりの読書行動みたいなことが変わってきているのだということで、図書館の利用がそれで減ってきているのだ、でも市民の一人の読書行動の中で、こんな場面では、図書館は使わない、図書館しか使うところが無いのだよと、図書館が使えるのだよと言うようなところに特化していくような、その利便性を上げていくとかなんだとか、そういうものがもしかしたら、これは山口市だけの話ではないのですが、日本全体として、図書館の利用がだんだん減ってきていると、コロナが明けたにもかかわらず回復していった先ほどの目標値にしたって、決して達成不可能なものではないと思うのです。理想値というよりも山口市のこの人口でこれだけの蔵書があるのだったらこれだけの利用はあってしかるべきというふうなある一定の基準で定められた目標値だと思いますので、それが達成されて当然というようなことになるだろうと思うので、それから向かうとなかなかむしろ、前年比からマイナスが続いているというのは、ちょっとやっぱり対策というか、検討すべき課題なのかなと感じました。

○安光会長

中央図書館は、最初の頃2,000人は利用者がいましたよね。それが今や半分になっていると。いろいろなライフスタイルがあるとは思いますが、でもこれは看過できないと思います。電子書籍がいずれ入ってくる、努力されるようなんです、いずれそういう計画があるかと検討されるということですね。

今、紙で勝負ですから、市内の書店も閉店したりすることもあるので、やはり私たちも含めて、その辺も考えないといけない。なぜ図書館を市民は利用しないのだろうかとか、図書館だけに任せるのではなくて、福岡の情報なんかも仕入れながら、またみんなで盛り上げていかなければ、何かどんどん減っていくような図書館になってしまうのではないかなと危惧しています。

○中央図書館 大井館長

図書館活用推進事業を平成25年に立ち上げまして、そこからいろいろなイベント等で利用促進や日頃図書館を使われない方へのアプローチというようなこともしておりますので、そういったことを充実させることで、引き続き利用者の拡大に努めていきたいなと思っております。

○安光会長

それぞれの館が利用層拡大、利用の促進を掲げられていますので、計画を立てるときに、なぜこの辺が減ってきているのかなというようなところも考えながら計画を立てていただければと思っているところです。

若原委員さん。生徒さんは、日常的に学校図書館を使ってらっしゃいますか。

○若原委員

学校図書館にも、市の図書館から貸していただいている本のコーナーとか置かせていただいて、司書の先生方がその推進で毎年オリエンテーションを行ってくださって、生徒たちに勧めていただいているような形になりますが、現状、小学校はカリキュラムの関係等で、図書館で週に1回、行く時間をとって行かれているというようなことで、中学校の方に関しては、やっぱり入試等もありまして、なかなか授業で使うということが難しい時期もあったりするので、そのあたりが中学校としては課題というか、授業の中で、図書室を利用していただけのように教員の方にも投げかけて、資料を探す場としての活用を今進めている状況です。広くいろいろな中学校でやっていけたらいいなと考えています。

○安光会長

他の方はいかがでしょうか。

○三坂委員

今、各図書館のお話を聞いて、特に阿知須図書館さんが、手作りの参加型企画の「おすそめを教えて」の開催というので、図書館をサードプレイスとして、快適に利用できる環境にいつも取り組んでいるというのが、素敵だなと、とても興味を持ちました。利用者促進のためにイベントを開催という目標を掲げているところもありますが、サードプレイスというキーワードもとてもいいと思うし、市民の皆さんを巻き込んで、それぞれ参加して何か読書会、いろいろやってらっしゃる市立図書館もありますよ。本を通じて人がつながって、お互いに学び合って、喜びとか楽しみとか感じられるような場があったらいいかなと、阿知須さんの取組がいいと思いました。イベントも素敵ですが、それ以外の方法もあるのではないかなと思いました。

○安光会長

打ち上げ花火に終わらず利用につながるような、それが継続。

○三坂委員

日常的にいけるような感じがしました。

○安光会長

他はいかがでしょうか。

○福永委員

阿知須図書館を利用することが多いのですが、私が好きなのは、図書館職員による「私の好きな本」や「こういうところが感動しました」というのが時々貼ってあって、本が紹介してあることです。先程の「おすすめの本を教えてください」は、小学生が、これが面白かったというのが貼ってあります。ちょっと感動したのは、自由に貼ってあって、あそうか、これも読んでみようかなと思います。また、返却された本をすぐに排架しないで、こんな本が読まれているみたいなコーナーがあって、みんなが借りられるように置いてあります。それは他の図書館では言われていないかと思います。中学生が自分たちの好きな本を書いてくれていて、大人が読むような本もありましたし、かわいい絵本もありました。小さいカードみたいなものなのですが、展示してあるというのが感じられて、うれしいコーナーだと思います。

○安光会長

他に意見はありませんか。

○福永委員

先日行ったときに、市の図書館のアンケートにデジタル化のことも書いてありました。私はまだそういうことをしていないのですが、一体どうやってやるのかなと思ったので、教えていただけるのだろうとすぐ思いました。このアンケートも利用者の取りやすい所に置いてあったし、どう活用できるかなとちょっと楽しみに思っています。

○安光会長

2年に1回アンケートをされるとお伺いしまして、特に、電子書籍のあたりの設問が結構あるなと思っています。

○井上委員

自分が本好きなもので、図書館はすごくいつも近いところで、小郡図書館や中央図書館など利用させていただいて、メインが小郡図書館なのですが、使っている人はよく図書館のことを知っているけども、やっぱり使わない人は図書館でDVDが借りられるとか、確かに数に限りはあるのですが、昔ながらの名作があるとか、図書館の良さが、本に興味のない人にまだ伝わっていないのかなと思っています。紙媒体が弱いかもしれませんが、もっと市報とかいろいろな手を尽くして図書館の素晴らしさというのを、PRをしていったらどうかと思いました。今でももちろんされているとは思いますが、市報などを見る限りでは、まだまだ足りないかなと思います。

○安光会長

蔵書点検でのお休みなどはあるような気がしますがいかがでしょうか。

○中央図書館 大井館長

図書館の広報媒体としてホームページやメールマガジン、ラインの公式アカウ

ントの中にメニューを追加していますし、図書館だよりも出しています。また、地域情報誌でイベントの周知をしております。

市報に、蔵書点検などは必ず載せるようにはしておりますし、今年度図書館特集を組んで、PR出来たらと思っております。

○安光会長

様々な手段での周知を、ぜひよろしくお願いいたします。

○安光（真）委員

私も秋穂の図書館が大好きで、でも残念ながらだんだんと読書体力というのが落ちてきて、厚い本が読めなくなっているのです。もともと子どもの読み聞かせをしておりますので、絵本に手が出しやすく、まずは秋穂の両小学校に読み聞かせに入った時に、これは秋穂図書館にある本だよとか、これ入ったばかりの絵本だから今日持ってきましたとかを子どもたちに伝えて、興味を持ってもらったら、図書館行ったらあるよというのを伝えるようにしています。残念ながら少子高齢化、秋穂も高齢者がとても多いので、では高齢者が図書館に行くかというのと、限られた人しか使っていないなというのはものすごく感じています。今年度から、高齢者の施設でも読み聞かせの活動を始めようと思って、高齢者のカフェで読み聞かせや紙芝居をしています。その時にも図書館には難しい本だけではなく、絵本もたくさんあり、こういう絵本が読みやすくとてもいいですよと伝えていまして、本当に小さな、ささやかな応援団なのですが、そういう一つ一つのことを図書館利用につながったらいいなと思っています。

なかなかいろいろなことで、どんどん進んでいくところがあって、取り残されている地域の方はたくさんいらっしゃるの、そこは、会長さんが言われたように、ささやかでも口で伝えるというのも大事な一つかなと思って発言しました。

○安光会長

移動図書館は北と南に回っていますが、サービスポイントの見直しは何年かに一度あって、学校はサービスポイントになっていますが、高齢者の施設に回る可能性は、ありますか。

○中央図書館 大井館長

南コースの1コースが育成学校、大内、宮野などに回っています。

2コースが大内の小京都ニュータウンや、小郡の上郷小学校、鑄銭司、吉敷地域交流センター等に行っています。

3コースは佐山、嘉川地域交流センター、井関小、リハビリ病院に行っています。

4コースは陶小、秋楽園、大海小、小鯖地域交流センターということで、高齢者の施設も回っています。

5コースは鑄銭司小、梅光苑、二島小、仁保下郷の深野を回っています。

6コースは佐山のふれあい館、興進小、名田島のいきいきやかた、大歳の地域交流センターとなっています。

阿東の方の北コースです。7コースは、地域交流センターの嘉年分館、八坂小、高齢者施設のとくち苑、柚野分館ですね。

8コースで柚野木小、さくら小、鷹の巣の公会堂、阿東の老人ホーム、生雲小。

9コースで、串分館、島地分館、あさぎりの館、伊賀地のふれあいの館、小古祖ふれあい会館。

10コースで、篠生、生雲分館に地福分館、それと阿東園と元栗屋医院がありました駐車場に行っているという状況です。

先ほど、コースの見直しということですが、半年に一回、見直しをしております。

○安光会長

前は見直しの件を協議したこともありましたが。半年に一回変えておられ、梅光園や秋楽園、とくち苑を回っておられ、とてもいいことでして、またそういうのも教えていただければと思います。

○中央図書館 一村サービス担当主幹

協議会でステーションの変更について、最近お知らせができていなかったなと思います。例えばこの3月に徳地で、柚野木小学校が閉校となりまして、そちらのステーションを近くの活性化センターに変更したなど、随時変更しているところでは。

○安光会長

利用者層や人数、場所等を加味して考えておられるようですね。

○中央図書館 大井館長

先程の追加になりますが、移動図書館やブックスタートの体験会の会場で、図書館の利用もPRしておりまして、図書館の利用拡大に寄与しているのではないかと考えております。

○伊東副会長

老人ホームなどの施設への移動図書館の巡回ですが、そのメリットと言ったら、利用する側としては、そこで予約している本を受け取れるということですね。移動図書館で持ってきた本を借りるというよりも、本館の本を予約して、それを移動図書館で受け取れるという利用をもっと促進すればいいと思います。それはされていると思いますが、デジタル化にも少し関係しますが、一般の高齢者であっても、図書館のウェブサイトから検索をして、マイ本棚に入れて予約をすることもできる。それを例えば移動図書館で、阿東老人ホームで受け取るということができるわけです。そうすると、移動図書館の利用も増えるのではないかなと。高齢者も、スマホを持っておられますから、そのスマホで、蔵書の検索をする。もしくは、電話で予約して、受取を移動図書館にすることになる。移動図書館の利用者は、本当に便利になると思います。そうすると、移動図書館の本を借りるだけではなくて、70万冊もある図書館の蔵書の中からあらかじめ予

約をし、次持って来てもらえることを、ぜひ高齢者にも勧めていただくと、移動図書館の活用促進にもなるのではないかと思います、いかがでしょうか。

○中央図書館 一村サービス担当主幹

移動図書館は、かなり手厚いサービスになっています。山口市の場合は、コースを決めて、同じ乗務員がステーションに行っています。利用者と乗務員が顔なじみになってサービスをしています。オパックからの検索は、曖昧な検索が難しく、著者名や書名が分かっているれば検索できますが、例えば「こんな雰囲気の本が欲しいな」とか、「こんなストーリーのお話が欲しいなみたいな」とか、そういう曖昧な中で本を読みたいというニーズは多い。特に高齢者は、細かい要望はあるけど本は特定できないということは多々あって、それを、乗務員との会話で聞き取って、それに合う本を持っていくサービスが、出来ていると思います。

○伊東副会長

それを移動図書館が来る前に図書館に電話をしてということにすればいいのではないですか。

○中央図書館 一村サービス担当主幹

それは顔見知りの特定の職員とのやり取りの中で出来上がるもので、どちらかというと、移動図書館に毎回来られているような顔なじみに対してそういったサービスをしているといった形になると思います。図書館にお電話をいただいている方もいらっしゃるのですが、そうするとどうしても特定の方の聞き取りになって、通常の対応になってしまいます。移動図書館に関しては、利用者が少ないということもありますが、そういうニーズを聞き取るようなサービスを今やっているような状況です。

○伊東副会長

移動図書館の窓口では手厚くされていると思いますが、今までそのステーションに来ることは出来ても、移動図書館を利用していない人が利用する、いわば予約をしたものの受取から始めてもいいではないですか。その時に移動図書館の棚を見て、こういうのもあるのだと言って、そこでまた借りていくというような、そのような契機になるので、是非、電話でということを広めていってもいいのではないかと思います。

○安光会長

その辺はご検討ください。

前から言っているのですが、スーパーが行っているような、ワンボックスカーに、その地域の方をお乗せして図書館で降ろして、2時間くらいしてお迎えするのもいいと思っています。これは面白いのではないかと考えているのですが、自分で本を探せるのは、すごくうれしいですね。お買い物だってそうだと思います。自分が行ってたくさんの中から選ぶ、なかなか実現が難しいとは思いますが、こちらから本を載せて行くだけでなく、お迎えする形も検討されてもいいのかなと思っています。

○瀬川委員

本を借りるときカードが好きなので、カードを使います。よく使うのは阿東図書館なのですが、ここに無い本をスマートフォンから予約したことがあります。高齢者の方もいらっしゃるので、やっぱりその人が借りやすいような、いろいろな手段や選択肢があっていいのではないかなと思いました。

○安光会長

令和6年度事業の予定について中央から、簡単をお願いします。

○中央図書館 大井館長

今年度充実させて取り組むものについて説明をさせていただきます。他は令和5年と同様ということで、ご理解いただけたらと思います。

デジタル技術を活用したサービスの充実ということで、サービス計画にも入れております、電子図書館の導入、図書館システムの更新に向けた調査・研究をしていきたいと思っております。

令和7年度に更新の予定、また、計画上電子図書館を導入するというので、その調査・研究を今年度進めていきたいと思っております。具体的には他市の状況調査や現在、利用者アンケートをしておりますが、そういったことを踏まえながらの次期システムについて検討していきたいと思っております。アンケートは、今月下旬から来月下旬まで一か月の期間を設けまして、図書館に来られる方、また本を借りられる方にお声掛けをして、ご記入をいただこうかなと思っております。その結果を踏まえて次期システムの検討をしてまいりたいと思っております。

○安光会長

小郡図書館をお願いします。

○小郡図書館 杉山館長

小郡図書館です。令和6年度事業の予定ですが、今年度も引き続いて利用者層の拡大、子どもの読書活動の推進、企画展示の充実、他機関との連携、資料整備に努めてまいります。

新規事業としましては、施設の改修として、図書館の外壁の改修工事と空調機改修工事を実施することとしております。空調機改修工事は、当初、部品の調達に心配をしておりましたが、調達がスムーズにいきまして、先週の5月21日の休館日にもう工事が完了いたしております。そしてもう一つの外壁改修工事については施行担当課の方から具体的な計画はありませんが、多分、今年度後半になるかと思っております。どうしても壁の工事なので、足場などを組むようになりますので、駐車場などについては、隣接の小郡総合支所と協議しまして、利用者に迷惑が掛からないように進めてまいりたいと考えております。

それと報告ですが、小郡図書館が開館から200万人になると申しました。4月20日の土曜日に、小郡図書館入館者数200万人達成記念セレモニーというのを開催しまして、ちょうど200万人になった入館者は親子4人連れの家族の方で、200万人になったということをお大変喜んでいただきました。以上、報告

でございます。

○安光会長

秋穂図書館をお願いします。

○秋穂図書館 網田館長

秋穂図書館です。6年度の事業予定につきましては、通年の取組を引き続き行いますが、図書館利用の促進としては、明日、地域交流センターで実施されますふれあい祭りの参加者が図書館に入られるとか、お子様連が絵本を見に来る機会があります。他にも交流センターでのイベント時については入館者がすごく増えるということで、タイアップしながら、図書館の利用促進につなげていきたいと思っています。明日のイベントにおいても、地域のボランティアによるブックリサイクルを交流センターのロビーで実施する予定としております。6年度は図書館としても積極的に交流センターのイベントにも関わって進めてまいりたいと思います。

秋穂図書館においては、防府地域の施設からマイクロバスで施設利用者が来られて、図書館の本を借りて帰られています。

○安光会長

防府の施設の方が秋穂に来られるのですね。

○秋穂図書館 網田館長

防府は施設の方が秋穂図書館に来られて、2週間に1度のサイクルで来館いただいております。

○安光会長

お伺い出来てよかったです。防府図書館にいらっしゃるわけではなくて、秋穂ですか。

○秋穂図書館 網田館長

防府にも行かれるのかもしれませんが、秋穂にも来ていただいています。

○安光会長

秋穂がフラットで利用しやすいのではないのでしょうか。防府は、2階、3階と少し高層になってくる。駐車場も難しいですね。秋穂は無料で、あちらは有料です。

阿知須図書館をお願いします。

○阿知須図書館 国重館長

令和6年度事業でございます。

昨年度同様、図書館の利用促進への取組を引き続き進めて参ります。

「地域の保育園のこどもたちの来館の促進」につきましては、隣接するあじす保育園の園児の皆さんに利用者カードの申請案内を引き続き行って参ります。

また、今年度新規事業としましては、図書館施設の改修を行います。事業内容としては、阿知須図書館が2001年に開催された「山口きらら博」の市町村館を移設したもので、屋根の上にはピンクの羽根のようなものが設置してあります

が、老朽化に伴いこの羽根を形作る鉄骨部分の腐食が進んでおり、危険回避のため、少しでも風の抵抗が減るようにピンクのシート部分を撤去するものです。また、この撤去に伴い、直射日光を避けるため天窓にフィルムを貼る工事を併せて行います。

阿知須図書館からは、以上でございます。

○安光会長

徳地図書館、お願いします。

○徳地図書館 榎本館長

徳地図書館の事業予定について申し上げます。新年度におきましても、徳地地域の方々と連携しまして、幕末維新関連の歴史講座やストーリーテリングのつどい等の行事を引き続き開催し、図書館の利用促進を図ってまいりたいと考えております。特にストーリーテリングのつどいにつきましては、今年度は物語を語るということに加えて、講師による初心者向けの読み聞かせ講座も同時に開催するよう企画しているところです。

子どもの読書活動の推進につきましても、イースターイベント、ブックリンピック、図書館たんけん隊、ブックスタート体験会等、各種イベントを開催し、子どもたちへ本に触れ合う機会を積極的に提供しようと考えております。この中で、ブックスタート体験会につきましては、これまで地域交流センターの会議室で行っていましたが、6月の開催につきましては、試行的に保健センターと連携し、図書館の視聴覚室において子どもの健康相談と同時に開催をしまして、保護者に図書館を案内するとともに、ブックスタート対象者以外の子どもにも読み聞かせができればと考えているところです。徳地図書館については以上です。

○安光会長

阿東図書館、お願いします。

○阿東図書館 徳本館長

阿東図書館の6年度の事業ですが、通年と同じ取組を進めてまいりたいと考えておりますが、変更点としまして、図書館の利用促進です。ティーンズの本は、子どもでも大人でも読める情報が入っておりますので、それをよく知ってもらおうということで、ティーンズの本の企画を実施します。また、DVD上映会につきましては、これまで大野先生のDVDを単品で年間、3、4回上映していましたが、利用者が伸び悩んでいます。そこで、一括して大野展というのを設けまして、それに合わせた数本の上映と大野先生の制作上の苦労話などの講話を併せて行いたいと考えております。

○安光会長

とても期待しております。是非私、大野展に参加したいです。

ワイワイ図書館についてお願いします。

○中央図書館 一村サービス担当主幹

今年度事業で4月27日に開催した子どもワイワイ図書館の実施状況について

報告します。このイベントにつきましては、6館同時開催で、普段静かな図書館がにぎやかなワイワイとした空間になるという趣旨で行っています。中央図書館につきましては、入館者が1,622人、イベント参加者850人。小郡図書館は、入館者551人、イベント参加者139人。秋穂図書館は、入館者301人、イベント参加者129人。阿知須図書館は、入館者367人、イベント参加者258人。徳地図書館は、入館者41人、イベント参加者11人。阿東図書館は、入館者276人、イベント参加者48人です。これはイベント参加者の延べ人数となります。重複している部分もあるかもしれませんが、イベント参加者と入館者との合計が4,593人となっております。以上です。

○安光会長

今年度のワイワイ図書館は行われたということです。他に何かありますか。

○井上委員

地域資料の収集範囲についてお尋ねします。中央図書館では中原中也とか、小郡図書館では山頭火など、各図書館でその地に因んだ人や事、物と取り上げる基準があると思います。先日鳥取県の日吉津村図書館の司書が中央・小郡・秋穂図書館を見学されました。秋穂図書館では小林和作さんの特設コーナーがありますが、秋穂在住の版画家の保手浜孝さん、工藤直子さんの詩集の挿絵や本多屋の包み紙で知られていますが、保手浜さんのコーナーは無かったので、在住のものは集めているのかどうかなど、お聞きしようと思いました。図書館でその土地のことを詳しく知ること、シビックプライドを高め、郷土愛を深めることができると思います。地域資料の内容をぜひ地元発信していただけたらと思っておりますので、各図書館での展示の基準や収集範囲について教えていただければと思っています。

○安光会長

地域資料についてですね。

○中央図書館 一村サービス担当主幹

地域資料の収集範囲ですが、基本的には、市内に在住の方が描かれたものというのは、収集範囲として集めております。保手浜さんの資料はもちろんあってしるべきものという認識でいます。これがいろいろな地域の方が、例えば主題が山口県内に関するものは広く集めていますので、これは市内に限らず、お隣の防府のことについて書かれた本とか、宇部のことについて書かれた本も収集しています。宇部にお住まいの方はどうかとか、もう少し離れて下関とか岩国にお住まいの方が書かれた著作についてはどうかとなると山口から範囲が広がりますので、書かれたテーマや主題がどうかということ、書かれた方の縁の度合い、その他に総合的に考えながら、収集する資料を決めています。少なくとも、山口市内にお住まいの方の書かれたものは、収集範囲として資料にしています。

○安光会長

他に意見等ありませんか。

	(意見なし) 意見がないようですので、以上で第1回図書館協議会は終了します。 事務局にお返しします。 ○中央図書館 高村管理担当主幹 次回の協議会の開催は、11月の下旬を予定していますが、別途調整いたします。 また、前回の協議会の議事録は、現在ホームページに掲載していますので、ご確認いただけたらと思います。よろしくお願いいたします。 以上で令和6年度第1回山口市立図書館協議会を終了いたします。ありがとうございました。
	山口市立中央図書館 TEL 083-901-1040